



平成 26 年 3 月 14 日

各 位

会社名	東テク株式会社
代表者名	代表取締役社長 長尾克己
(コード番号	9960)
問合せ先	取締役常務執行役員管理本部長 中溝敏郎
(TEL	03-3242-3229)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社が平成 23 年 7 月 29 日に公表いたしました「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所につきましては____下線を付して表示しております。

訂正理由につきましては、平成 26 年 3 月 13 日付「調査委員会の報告書受領に関するお知らせ」及び本日付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出および過年度に係る決算短信(訂正版)の公表について」をご参照ください。

以 上

(訂正後)



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年7月29日

上場会社名 東テク株式会社 上場取引所 大
コード番号 9960 URL <http://www.totech.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名）長尾 克己
問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員管理本部長（氏名）中溝 敏郎（TEL）03（3242）3229
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第1四半期	9,974	2.1	<u>△480</u>	—	<u>△473</u>	—	<u>△313</u>	—
23年3月期第1四半期	9,771	△0.7	<u>△621</u>	—	△666	—	<u>△499</u>	—

（注）包括利益 24年3月期第1四半期 △272百万円（－％） 23年3月期第1四半期 △737百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	<u>△23</u>	<u>06</u>	—	—
23年3月期第1四半期	<u>△36</u>	<u>69</u>	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		％	円	銭
24年3月期第1四半期	<u>36,723</u>		<u>11,463</u>		<u>31.0</u>	<u>837</u>	<u>88</u>
23年3月期	<u>38,254</u>		<u>11,913</u>		<u>30.9</u>	<u>871</u>	<u>13</u>

（参考）自己資本 24年3月期第1四半期 11,375百万円 23年3月期 11,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	13 00	13 00
24年3月期	—				
24年3月期（予想）		0 00	—	13 00	13 00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	24,200	3.9	50 <u>△68.0</u>		130 <u>△18.4</u>		60 —		4 42
通期	52,000	0.2	630 <u>△27.3</u>		820 <u>△14.1</u>		420 <u>53.9</u>		30 94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
業績予想の修正については、本日（平成23年7月29日）公表の「平成24年3月期第2四半期（累計）連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	13,988,000株	23年3月期	13,988,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	412,108株	23年3月期	412,108株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	13,575,892株	23年3月期1Q	13,625,892株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により自動車や各種機械他で減産を余儀なくされ、輸出も減少するなど大きな負の影響が出ました。その後はサプライチェーンの急速な復旧による回復基調が出てきましたが、福島原発事故による電力供給や風評被害等の懸念事項や円高の影響も続いており、先行き不透明感が拭えない状況となっています。

建設業界におきましても、先行きの懸念から民間の設備投資に抑制が続き、公共工事の発注は低調であり、依然として厳しい事業環境が続きました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高は9,974百万円(前年同期比2.1%増)となりました。利益面につきましては、営業損失が480百万円(前年同期損失額621百万円)となり、経常損失は473百万円(前年同期損失額666百万円)となりました。また、四半期純損失は313百万円(前年同期損失額499百万円)となりました。

なお、当社グループは売上高が第4四半期に集中する傾向があり、業績には季節的変動があります。

商品販売事業におきましては、空調機器、制御機器、省エネ機器を中心とした設備機器の販売を行っております。売上高は8,210百万円(前年同期比2.2%増)、売上総利益は1,370百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

工事業におきましては、主に計装工事の設計・施工および空調その他機器のメンテナンス・アフターサービスを行っております。価格競争が続く中で、売上高は1,624百万円(前年同期比2.5%増)となりましたが、売上総利益は411百万円(前年同期比7.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,530百万円減少し、36,723百万円となりました。これは投資資産の時価上昇等に伴い投資有価証券が199百万円増加した一方、売掛金等の回収により得た現金を買掛金等の支払や借入金等の返済にまわすなど、流動資産が1,674百万円減少したことが主な要因です。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,080百万円減少し、25,260百万円となりました。これは買掛金等の支払いによる純減額1,141百万円が主な要因です。なお、有利子負債の純減額は141百万円です。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて450百万円減少し、11,463百万円となりました。これは四半期純損失313百万円の計上、および、配当金の支払176百万円が主な要因です。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は31.0%となり、前連結会計年度末に比べ0.1%増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、東日本大震災による当社及び取引先への影響を精査の上、確定次第速やかに発表することとしておりましたが、現時点において入手可能な情報や予想等に基づき、第2四半期累計期間の業績予想を新たに記載しております。なお、通期の連結業績予想に関しましては、平成23年5月20日に発表している予想を修正していません。

詳細につきましては、本日(平成23年7月29日)公表の「平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,010	5,039
受取手形及び売掛金	15,860	12,142
有価証券	430	329
たな卸資産	1,495	2,789
繰延税金資産	<u>392</u>	<u>573</u>
未収入金	3,740	4,339
その他	77	115
貸倒引当金	<u>△7</u>	<u>△6</u>
流動資産合計	<u>26,998</u>	<u>25,323</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,988	2,990
土地	3,581	3,581
その他	571	574
減価償却累計額	<u>△1,909</u>	<u>△1,947</u>
有形固定資産合計	<u>5,231</u>	<u>5,198</u>
無形固定資産		
のれん	237	217
その他	211	199
無形固定資産合計	<u>448</u>	<u>417</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	2,370	2,569
繰延税金資産	620	606
その他	<u>2,699</u>	<u>2,722</u>
貸倒引当金	<u>△115</u>	<u>△114</u>
投資その他の資産合計	<u>5,575</u>	<u>5,784</u>
固定資産合計	<u>11,255</u>	<u>11,399</u>
資産合計	<u>38,254</u>	<u>36,723</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,462	10,320
短期借入金	3,835	5,587
1年内償還予定の社債	1,700	1,130
未払法人税等	429	317
未成工事受入金	188	402
賞与引当金	591	296
役員賞与引当金	16	1
その他	815	1,226
流動負債合計	19,039	19,282
固定負債		
社債	1,899	1,839
長期借入金	3,360	2,096
退職給付引当金	1,297	1,312
役員退職慰労引当金	430	439
その他	312	288
固定負債合計	7,301	5,977
負債合計	26,340	25,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857	1,857
資本剰余金	1,829	1,829
利益剰余金	8,365	7,876
自己株式	△149	△149
株主資本合計	11,902	11,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76	△38
その他の包括利益累計額合計	△76	△38
少数株主持分	87	88
純資産合計	11,913	11,463
負債純資産合計	38,254	36,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	9,771	9,974
売上原価	<u>7,952</u>	<u>8,113</u>
売上総利益	<u>1,818</u>	<u>1,860</u>
販売費及び一般管理費	2,440	2,341
営業損失(△)	<u>△621</u>	<u>△480</u>
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	23	23
仕入割引	59	72
雑収入	30	20
営業外収益合計	118	120
営業外費用		
支払利息	49	42
手形売却損	8	6
デリバティブ評価損	66	18
不正関連損失	<u>21</u>	<u>25</u>
雑損失	18	19
営業外費用合計	<u>163</u>	<u>113</u>
経常損失(△)	<u>△666</u>	<u>△473</u>
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60	—
特別損失合計	60	—
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△727</u>	<u>△473</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>26</u>	<u>33</u>
法人税等調整額	<u>△255</u>	<u>△196</u>
法人税等合計	<u>△229</u>	<u>△163</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△498</u>	<u>△310</u>
少数株主利益	1	2
四半期純損失(△)	<u>△499</u>	<u>△313</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△498</u>	<u>△310</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	<u>△239</u>	38
その他の包括利益合計	<u>△239</u>	38
四半期包括利益	<u>△737</u>	<u>△272</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△739</u>	<u>△274</u>
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 東テク株式会社
コード番号 9960 URL <http://www.totech.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 長尾 克己
(氏名) 中溝 敏郎

TEL 03-3242-3229

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,974	2.1	△505	—	△472	—	△300	—
23年3月期第1四半期	9,771	△0.7	△642	—	△666	—	△485	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △259百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △722百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△22.12	—
23年3月期第1四半期	△35.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	36,701	11,756	31.8	859.48
23年3月期	38,233	12,193	31.7	891.78

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 11,668百万円 23年3月期 12,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,200	3.9	50	△51.4	130	△19.3	60	—	4.42
通期	52,000	0.2	630	△16.3	820	△14.4	420	28.0	30.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成23年7月29日)公表の「平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	13,988,000 株	23年3月期	13,988,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	412,108 株	23年3月期	412,108 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	13,575,892 株	23年3月期1Q	13,625,892 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により自動車や各種機械他で減産を余儀なくされ、輸出も減少するなど大きな負の影響が出ました。その後はサプライチェーンの急速な復旧による回復基調が出てきましたが、福島原発事故による電力供給や風評被害等の懸念事項や円高の影響も続いており、先行き不透明感が拭えない状況となっています。

建設業界におきましても、先行きの懸念から民間の設備投資に抑制が続き、公共工事の発注は低調であり、依然として厳しい事業環境が続きました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高は9,974百万円(前年同期比2.1%増)となりました。利益面につきましては、営業損失が505百万円(前年同期損失額642百万円)となり、経常損失は472百万円(前年同期損失額666百万円)となりました。また、四半期純損失は300百万円(前年同期損失額485百万円)となりました。

なお、当社グループは売上高が第4四半期に集中する傾向があり、業績には季節的変動があります。

商品販売事業におきましては、空調機器、制御機器、省エネ機器を中心とした設備機器の販売を行っております。売上高は8,210百万円(前年同期比2.2%増)、売上総利益は1,349百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

工事業におきましては、主に計装工事の設計・施工および空調その他機器のメンテナンス・アフターサービスを行っております。価格競争が続く中で、売上高は1,624百万円(前年同期比2.5%増)となりましたが、売上総利益は407百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,531百万円減少し、36,701百万円となりました。これは投資資産の時価上昇等に伴い投資有価証券が199百万円増加した一方、売掛金等の回収により得た現金を買掛金等の支払や借入金等の返済にまわすなど、流動資産が1,675百万円減少したことが主な要因です。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,094百万円減少し、24,945百万円となりました。これは買掛金等の支払いによる純減額1,141百万円が主な要因です。なお、有利子負債の純減額は141百万円です。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて437百万円減少し、11,756百万円となりました。これは四半期純損失300百万円の計上、および、配当金の支払176百万円が主な要因です。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は31.8%となり、前連結会計年度末に比べ0.1%増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、東日本大震災による当社及び取引先への影響を精査の上、確定次第速やかに発表することとしておりましたが、現時点において入手可能な情報や予想等に基づき、第2四半期累計期間の業績予想を新たに記載しております。なお、通期の連結業績予想に関しましては、平成23年5月20日に発表している予想を修正しておりません。

詳細につきましては、本日(平成23年7月29日)公表の「平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,010	5,039
受取手形及び売掛金	15,860	12,142
有価証券	430	329
たな卸資産	1,495	2,789
繰延税金資産	371	551
未収入金	3,740	4,339
その他	77	115
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	26,977	25,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,988	2,990
土地	3,581	3,581
その他	571	574
減価償却累計額	△1,909	△1,947
有形固定資産合計	5,231	5,198
無形固定資産		
のれん	237	217
その他	211	199
無形固定資産合計	448	417
投資その他の資産		
投資有価証券	2,370	2,569
繰延税金資産	620	606
その他	2,693	2,716
貸倒引当金	△109	△108
投資その他の資産合計	5,575	5,784
固定資産合計	11,255	11,399
資産合計	38,233	36,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,462	10,320
短期借入金	3,835	5,587
1年内償還予定の社債	1,700	1,130
未払法人税等	145	20
未成工事受入金	188	402
賞与引当金	591	296
役員賞与引当金	16	1
その他	797	1,208
流動負債合計	18,738	18,967
固定負債		
社債	1,899	1,839
長期借入金	3,360	2,096
退職給付引当金	1,297	1,312
役員退職慰労引当金	430	439
その他	312	288
固定負債合計	7,301	5,977
負債合計	26,039	24,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857	1,857
資本剰余金	1,829	1,829
利益剰余金	8,646	8,169
自己株式	△149	△149
株主資本合計	12,183	11,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76	△38
その他の包括利益累計額合計	△76	△38
少数株主持分	87	88
純資産合計	12,193	11,756
負債純資産合計	38,233	36,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	9,771	9,974
売上原価	7,973	8,138
売上総利益	1,797	1,835
販売費及び一般管理費	2,440	2,341
営業損失(△)	△642	△505
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	23	23
仕入割引	59	72
雑収入	30	20
営業外収益合計	118	120
営業外費用		
支払利息	49	42
手形売却損	8	6
デリバティブ評価損	66	18
雑損失	18	19
営業外費用合計	142	87
経常損失(△)	△666	△472
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60	—
特別損失合計	60	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△726	△472
法人税、住民税及び事業税	11	20
法人税等調整額	△254	△195
法人税等合計	△243	△174
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△483	△297
少数株主利益	1	2
四半期純損失(△)	△485	△300

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△483	△297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△239	38
その他の包括利益合計	△239	38
四半期包括利益	△722	△259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△724	△262
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。